

# 防災 だより

その81

## 今年度から防災気象情報が新しくなります

国土交通省水管理・国土保全局と気象庁は、5月下旬(予定)から新たな防災気象情報の運用を開始します。

現在、市町村から発令される避難指示などの避難情報や気象庁などから発表される防災気象情報

は、住民がとるべき行動を直感的に理解しやすくなるよう、5段階の「警戒レベル」を用いてお伝えしています。例えば警戒レベル4は、「危険な場所から全員避難」となっており、この警戒レベル4までに、各種情報を参考に自らの判断で避難行動をとる必要があります。しかし、気象庁などが発表する現在の「大雨警報」や「土砂災害警戒情報」といった防災気象情報は、この警戒レベルとの対応が分かりづら

いという指摘がありました。そこで、5月下旬(予定)から運用を開始する新たな防災気象情報

報では、河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮に関する警報などを、災害発生の危険度に応じて住民がとるべき行動に対応した5段階の警戒レベルと整合させ、現行の大雨警報などから伝え方が大きく変わります。

例えば、**大雨警報は「レベル3大雨警報」という名称に変更され、レベルの数字と一緒に情報が伝えられます。**

また、河川氾濫の特別警報を新たに開始し、**大河川の氾濫が発生・切迫した状況では「レベル5氾濫特別警報」**を発表します。

このほか、警戒レベル4に相当する情報は、警報(警戒レベル3相当)や特別警報(警戒レベル5相当)と異なる**レベルであることが分かるよう「危険警報」という名称**で発表します。

レベル3警報やレベル4危険警報が発表されたら、自治体からの避難

指示などに十分留意いただくとともに、大雨で危険度が高まった地域が地図で表示される「キキクル」や河川の水位情報などの情報を確認し、危険な場所にいる方は早めの避難を心掛けてください。

気象庁ホームページに設けた特設ページでは、新たな防災気象情報に関する様々な資料を掲載しています。これらの資料を参考に、防災気象情報や避難情報が発表された際にどのような行動をとるか、ご家庭や企業・組織内であらかじめ決めていただくようお願いいたします。

新たな防災気象情報に関する特設ページ



問い合わせ

福岡管区気象台 ☎ (725) 3604

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民がとるべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難!>					
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル1	早期注意情報				災害への心構えを高める